

③三上隊員の紹介

経歴紹介



三上 啓 (みかみ けい)

出身：富山県高岡市

協力隊任期：2022.4～2026.3（現役）



2020年
脱サラ



2021年
農泊をしながら九州縦断
農業に興味を抱く



2022年4月
氷見市地域おこし協力隊に着任
有機農業が活発、子育て支援が充実の氷見に魅力を感じる



2022年11月
出産（1年間の産休・育休）



2023年10月
協力隊として再スタート

- **農業の担い手**として栽培技術、農機具の操作技術、資格を身に着ける。
- 布勢地区の方々と協力し風土に合った**特産品作り**で六次産業化を目指す。
- **放置竹林を整備**すると共に、竹の新たな活用方法を考える。

③三上隊員の紹介

活動内容（農業分野）

にんにく栽培の拡大

収量 2022年150kg 2025年270kg



商品開発

黒にんにくチョコレート 神代温泉水を使用した黒にんにく



農業体験の受け入れ



朝市の開催・出店

子ども向け収穫体験の実施



③三上隊員の紹介

活動内容（竹林分野）

ネットワーク設立
ひみ竹林ネットワーク Team Viva Bamboo



各種イベント開催
(33回開催/約600人参加)



林内作業道の整備
バックホー操作技術の習得

Before



After



ひみ食彩祭りでメンマ販売
地元ラーメン店とコラボ



○ 自分が動くほど、活動の広がりが生まれていく

地域課題への取り組みが、地域の「やりたい」を実現する動きへ広がっていった

○ 地域には「頼られる」ことを待っている人もいる

「暇やから、手伝うことあれば言ってね」と声をかけてもらうことも多く、
“頼ること”も協力隊の役割だと気づいた

○ 協力“員”ではなく、多くの関わりの中で成り立つ 協力“隊”だと実感

地域・市役所・保育園・協力隊の仲間・家族に支えられた日々

— 地域内 × 地域外の交流をつくる —

「人が集まる竹林づくり」

地域の人と一緒に竹林を整備し、子どもも大人も自由に過ごせる、地域に根付く「集いの場」を育てていきたい。



「竹をまるごと味わう宿づくり」

空き家を活用し、竹を五感で味わう体験型の宿をつくり、地域外の人を訪れ、地域の人と出会う交流のきっかけを生み出していきたい。



④西田隊員（経験者）の紹介

経歴紹介



西田 朱里（にしだ あかり）

出身：神奈川県横浜市

協力隊任期：2020.6～2025.3

- 東京の大学→東京の企業に勤務
- 2020年
協力隊として氷見市へ
- 2020年6月から2025年3月まで
氷見市地域おこし協力隊に着任
教育魅力化コーディネーター
（コロナ禍の特例で途中任期延長）
氷見高校を主な拠点として活動
- 2025.4月から
一般社団法人D-live代表理事として
協力隊時代の任務を継続

市内唯一の高校・氷見高校の地域協働学習「未来講座HIMI学」の支援



教科書のない教科「総合的な探究の時間」を
氷見高校では「**未来講座HIMI学**」と銘し、
氷見市役所や市内の事業所・事業主、関係機関の皆様と様々な連携をしながら、
生徒が自ら設定した地域の課題について主体的な考えに基づき改善・解決を
図る活動を実践しています。



④西田隊員（経験者）の紹介

「HIMI学」の流れ

地域
課題の
提示



アドバイス・
FWの実施



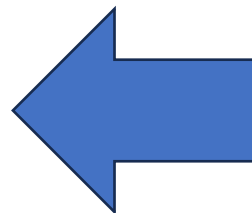
企画実施
支援



地域伴走者



協力



④西田隊員（経験者）の紹介

生徒たちの活動内容

久目地区 地域づくり協議会と協働
空き家片付け大作戦



ゲーム制作に興味がある生徒の
氷見のブリを題材としたゲーム制作



株式会社ラポーエと協力
日本橋とやま館での氷見の着物PRイベント



氷見市社会福祉協議会との
高齢者向け交流イベントの実施



みんなで試行錯誤してできた案を実際に実行し、**地域の方々に喜んでいただくことができてやりがいを感じた。**
今後も積極的に地域のイベントやボランティアに参加していきたい。



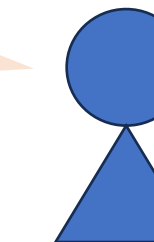
1人で考えるのではなく、多くの人と関わることで解決策が見えてくることがわかった。
大人の人に相談したりメールのやりとりをたくさんしたので、**大人と話す時に緊張しなくなっていた。**



氷見には何も無いと思っていたけど、他の地域にはない自慢できることがたくさんあることがわかった。



伴走者の方が、楽しそうに真剣にはなしてくれて、自分が興味を持ったことに対して真剣に向き合っているのが凄くカッコよくて自分もこういう大人になりたいと思った。****





地域活動をしたい生徒の集まり
2024年2月より活動開始

（活動例）

- ・高齢者向けのスマホ教室
- ・芸術文化館での飲食提供の実施
- ・空き家の片付け など



④西田隊員（経験者）の紹介 ひみりべ。の運営

2023年5月、氷見駅近くに高校生が放課後に寄ることができるユースセンターをオープン。高校生が地域の大人や大学生と繋がり、挑戦することができる場所を目指しています。



ひみりべ。の
提供価値の概念



(活動例)

- ・地元企業と協働で実施の駅前マルシェ
- ・高校生が氷見の仕事体験を小学生に提供
おしごとミニミニフェスタ など



④西田隊員（経験者）の紹介 今後目指したいこと

氷見高校やひみりべ。での活動を通じて

HIMI学やひみりべ。
があったから
挑戦できた！

**氷見に
生まれて
よかった！**

HIMI学やひみりべ。
を通じて
**将来氷見に恩返し
したいと思った！**

こんな若者の声が少しでも増えるように
これからも頑張ります！

⑤野口隊員（経験者）の紹介

経歴紹介



野口 朋寿（のぐち ともひさ）

出身：香川県高松市

協力隊任期：2018.4～2021.3



2016年3月

富山大学芸術文化学部卒

在学時から、魚の皮をなめし加工して
製品化を目指す活動に取り組む



2018年3月

大谷大学短期仏教科卒



2018年4月～2021年3月

氷見市地域おこし協力隊に着任
魚の皮を使った地域おこしに本格的に取り組む



2020年

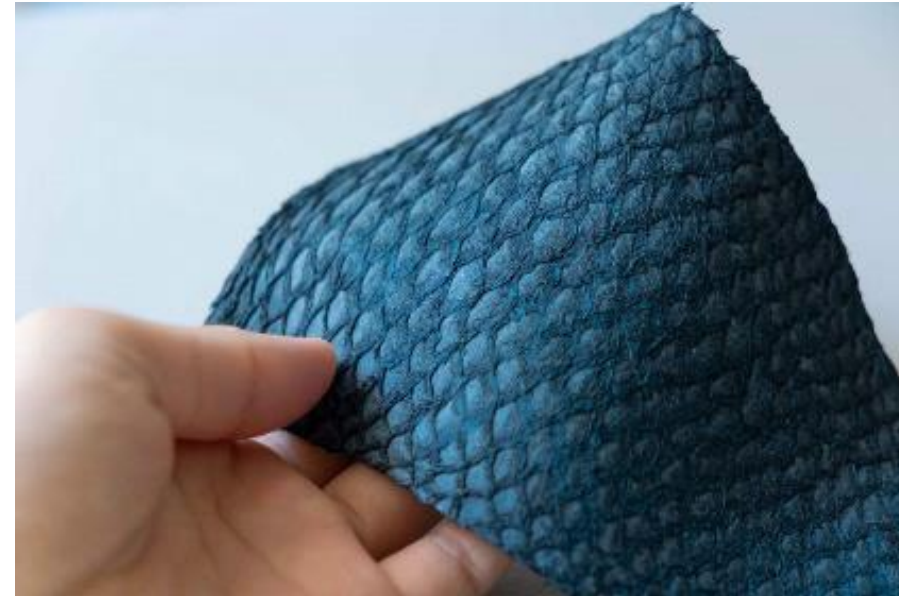
ブランド「tototo」を開始



2022年

株式会社シンクシーを設立

- ・魚の皮を利用した新たな特産品開発による地域おこし

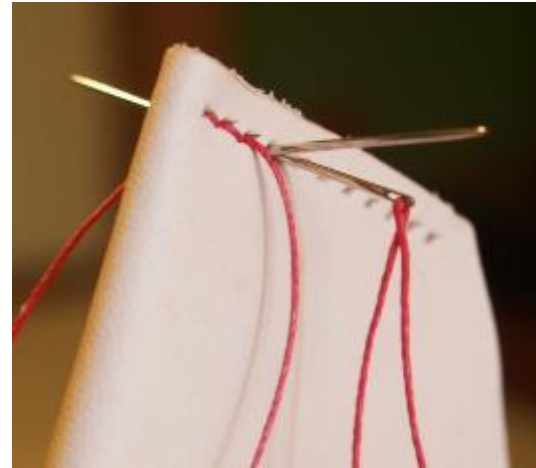


持続可能な新素材

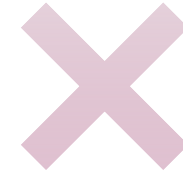
フィッシュレザー



漆工芸



レザークラフト



魚好き

水産加工の廃棄の量に驚く



⑤野口隊員（経験者）の紹介 地域活動への参画

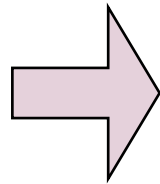
フィッシュレザーの活用に取り組みながら、
まちづくり協議会のサポートや地域イベント運営にも参加



Business model

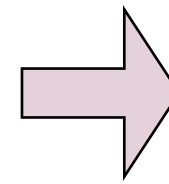


地域の鮮魚店から、
大手水産加工会社まで、
加工の際に出る皮を回収



tototo

魚皮をフィッシュレザー
に加工し、商品製造



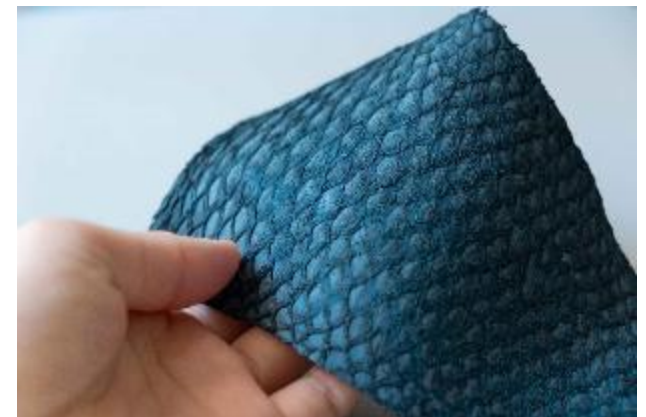
B2C

ブランドとして商品販売

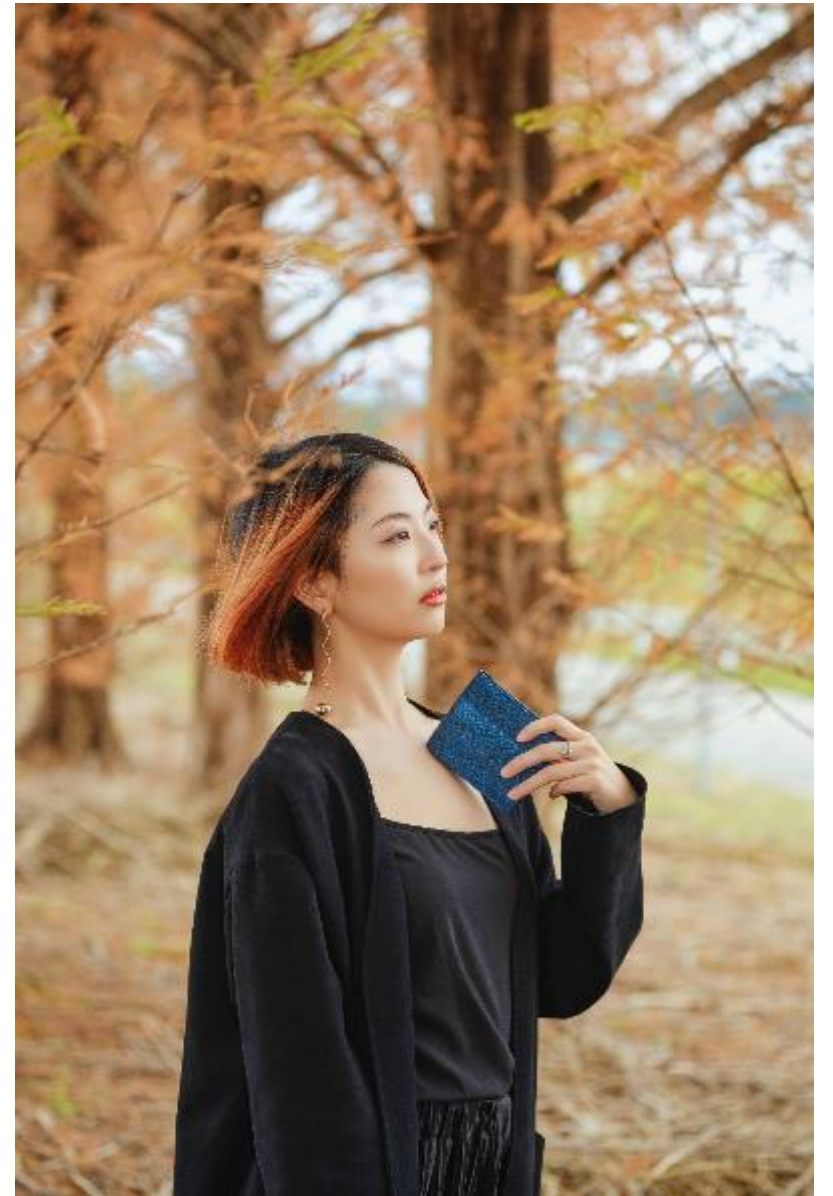


B2B

レザー素材の販売



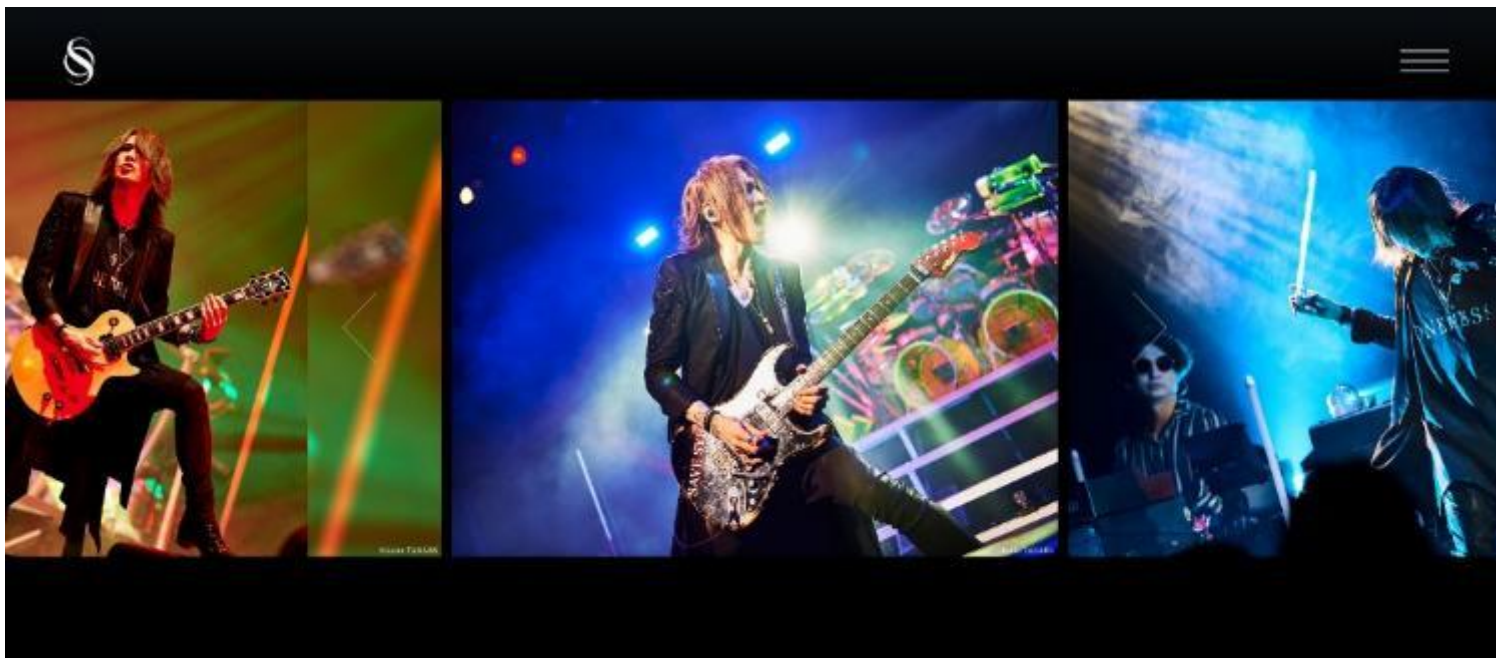
Make products



Fashion

SUGIZO

Rock artiste for LUNA SEA, X JAPAN,
and THE LAST ROCKSTARS.



⑤野口隊員（経験者）の紹介

サモアでの技術支援

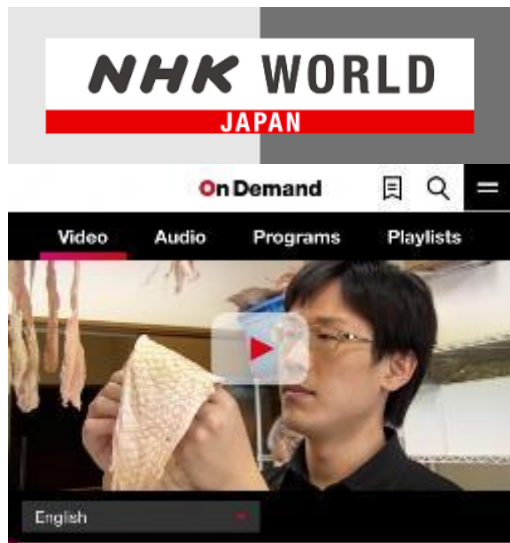
2023年に国連開発計画UNDP主催「Japan SDGs Innovation Challenge」の連携企業に選ばれ、サモアでのフィッシュレザー技術支援プロジェクトを実施



現状の課題：フィッシュレザーに対する認知度と信頼性の低さ

- 素材の耐久性や品質を広く理解してもらうため、企業や自治体、大学など様々な団体との協業を拡大し、社会的信用を高めていくことが持続的な成長の鍵だと考えています。

斬新なアップサイクルとして、
様々なメディアにも
取り上げられています。



研究開発



植物由来のプラスチックと
フィッシュレザーの融合

製造パートナー



障がい者支援事業者と協力し、
地域の雇用創出